

## 長岡市・関係企業共同記者発表 要旨

日 時：令和元年12月17日（火）午後2時から

会 場：アオーレ長岡東棟4階 大会議室

【発表項目：長岡北スマート流通産業団地 第2期エリア進出協定合同締結式・共同記者発表】

出席者：長岡市長 磯田 達伸

太平興業株式会社	代表取締役社長	武藤 幸規
	(代理 常務取締役	藤井 俊昭)
株式会社美松	代表取締役	松井 秀明
日本陸送株式会社	代表取締役	黒岩 一夫
株式会社カンエツ	代表取締役	関谷 薫
株式会社大原運輸	代表取締役社長	布川 裕見子
株式会社波多製作所	代表取締役	波多 乙三宏
株式会社新潟食品運輸	代表取締役	井越 鉄雄

(司会)

これより進出企業各社と長岡市による長岡北スマート流通産業団地第2期エリア進出協定合同締結式を行います。

なお、進出企業全8社のうち1社は、都合によりまだ社名を公表できないため、本日は欠席しています。

進出協定締結に先立ち、磯田市長からごあいさつ申し上げます。

(長岡市長)

先日、記者会見にて進出企業が決定したと発表しましたが、きょうは7社の代表からおいでいただき、締結式を行います。本当にありがとうございます。

進出企業の皆さまは、製造業、流通業、物品賃貸業、自動車整備業など業種はさまざまですが、第1期エリアの進出企業、あるいは地場産業と連携をとって、さらに大きく発展していただきたいと思っています。

このたびの企業進出によって、8社全体で約59億円の設備投資、新たな売り上げが年間約91億円、従業員は400人前後、うち新規雇用が140人と見込んでいます。

1期と2期を合わせますと、15社全体で設備投資が142億円、売り上げが179億円、そして従業員数は780人と、かなり大きなボリュームの産業団地になってきました。

今まで首都圏に目が向いていた長岡出身の学生や、県外からのU・Iターンなど、さまざまな層を取り込み、定住人口の増加につなげていきたいと思っております。

また、N a D e C（ナデック）構想に基づき、市内4大学1高専との共同開発やインターンシップなど、産学連携にも取り組んでいただき、この産業団地を基点にしながら地場産業のイノベーションにつなげたいと考えています。

来年の2月1日・2日には「長岡ものづくりフェア」が開催されます。ここにお集まりいただいた進出企業の皆さまの紹介ブースを設け、積極的に来場者にPRする予定です。

第3期エリアは後ほど公募しますが、このエリアを長岡の新しい産業発展のスタート地点としたいと思っています。

#### （司会）

続きまして、進出企業各社より自社のご紹介、進出の概要についてご説明いただきます。

まずは、太平興業株式会社です。代表取締役社長の武藤幸規様は本日都合によりご欠席のため、常務取締役の藤井俊昭様から代理としてお越しいただいています。

#### （太平興業・藤井）

私どもは、昭和21年3月に東京で設立しまして、現在は三菱ふそうトラック・バス株式会社の特約販売会社として、新潟県と山形県、秋田県の3県に15の拠点があります。中でも中越地区の重要な拠点として、長岡市には昭和38年に下々条で拠点をオープンし、以来56年営業してきました。

これまで何度か建物の増改築を行いましたが、建物・設備が老朽化したことと、事業拡張に伴い敷地が手狭になったため、移転する場所を長年探していました。この産業団地に移らせていただくことになり、大変ありがたく思っています。

このたび新しい店舗ができた場合は、最新の設備を導入して、業務の効率化、生産性の向上を図るとともに、新たに人材の採用、育成を図る所存です。そして、この産業団地の各社様、それから現在までお取引をいただいている各社様に対し、トラックが故障したときには速やかに対応できる体制を整え、安全・安心を提供します。

来年、創業74年を迎えますが、社員一丸となって100年企業を目指しています。より一層お客様に喜ばれるサービスを提供できるよう努めるとともに、末永く長岡市の発展に貢献する所存です。

#### （司会）

続きまして、株式会社美松、代表取締役の松井秀明様、よろしく申し上げます。

#### （美松・松井）

弊社の発祥は、地元長岡です。戦後間もなくこの長岡で復興を目指して、家族で食事をしたり、お茶を飲んだりする場所をつくろうと生まれた会社で、今期で61期目を迎えます。

産業団地は長岡の北の玄関口ですが、私たちの区画はその団地の入り口部分の場所です。この地の利を生かして、生産したものを県内、県外、または海外に出していく。そして、県外、海外の人が来

ていただくような生産拠点として、出来たての商品の販売コーナーや、工場見学、体験ができる工場にしようと計画しています。

引き渡しは2年後で、操業開始は3年後になりますので、市民の方々のご要望も可能な限り入れて、市内大学との産学連携なども考えたいと思っています。

(司会)

続きまして、日本陸送株式会社です。代表取締役の黒岩一夫様、よろしくお願いします。

(日本陸送・黒岩)

弊社は、本社が群馬にあります。来年、創業55年を迎えますが、40年近く新潟の自動車ディーラーへ車を輸送してきました。

昨今、働き方改革や労働時間などのテーマがありまして、群馬から新潟県全体をカバーするのは時間的に難しいということで、新潟県内に拠点を設けたいと考えていました。

その中で、長岡北スマートインターチェンジの直結する工業団地ができることを知り、最適地と思い、進出を強く希望したところです。

造成完了は2年先ということですが、団地での業務を開始する前に、地元の方々に少しでも採用できたらと思っています。

今後もしよき企業市民を目指して頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(司会)

続きまして、株式会社カンエツです。代表取締役の関谷薫様、よろしくお願いします。

(カンエツ・関谷)

当社は新潟市に本社があり、主に道路安全保安用品の販売・レンタルを中心に「職場の安全を願って奉仕する」をモットーに事業を展開し、長岡市においても、昭和62年に営業所を開設して以来、長岡市の地域の皆様とともに歩んできました。

今回、関越自動車道、北陸自動車道のアクセスに便利な長岡北スマートインターに隣接し、かつ長岡市中心部や近隣市町村へのアクセスにも非常に便利な、魅力ある分譲地への移転がかない、今後の事業発展にも大きな展望が見えてきました。

特に当社では北陸、信越地方に多くの営業所を持っていますが、それらの拠点に対するロジスティクス機能を持ち、さらに市内4大学1高専との産学連携による新規商材の開発や新商品、デザインの作成といった、社内における北陸・信越地域の基幹拠点として長岡営業所を発展させていく所存です。

それに伴い、市内の各学校から優秀な人材を積極的に採用しつつ、外国人留学生の採用も視野に入れ、移転後1年目に約10人程度の採用を見込んでいます。以後も継続的に採用活動をして、新卒から中途採用、高齢者採用、外国人採用など、当社の中でもダイバーシティ経営を担う営業所にしていきたいと思っています。

今後も長岡市の発展に寄与しつつ、我々も長岡市と地域の皆さまとともに成長していきたいと思っ

ています。

**(司会)**

続きまして、株式会社大原運輸です。代表取締役社長の布川裕見子様、よろしくお願いいたします。

**(大原運輸・布川)**

弊社は、1972年10月に特定貨物運送事業の免許を受け、長岡で設立しました。1978年には、免許を一般貨物運送事業に変更しまして、現在は新潟市、長野市を含めた3拠点で事業を展開しています。

本社移転は、社屋の老朽化と駐車スペースの問題から集約・移転を決意したものです。

弊社の企業理念は、「安全、安心、社会貢献」です。昨年から地元幼稚園にご協力いただき、車両を園児の絵でラッピングし、一緒に交通安全の呼び掛けを行っています。

また、事故防止のため、昨年より最新の支援システム搭載車の導入を開始しました。一日も早く安全な職場と安心して働ける環境を拡大し、さらなる社会貢献を進めていきたいと考えています。

**(司会)**

続きまして、株式会社波多製作所です。代表取締役、波多乙三宏様、よろしくお願いいたします。

**(波多製作所・波多)**

弊社は、1956年より63年間、長岡市で金属加工のあらゆる事業に貢献してきました。

その中で、現在の建屋は老朽化により新しい設備が導入できない、土地がなく建屋の増設ができない、社内に新しい設備の設置スペースがない、求人募集をしても集まりにくい、そして、人が集まらないことにより技術の伝承ができないという五つの課題がありました。

これらの問題を解決するためには、きれいな建屋、機械加工場の拡大のほか、各方面からの従業員を雇ううえでは、交通の利便性が大事だと考えていましたが、北スマート流通産業団地に進出することで解決できると思っています。

今後の波及効果として、交通の利便性が良いため、地域での一貫生産の仕事を持ち込みやすくなることや、県外企業との取引による収益増加などを考えています。

また、産学連携として、現在、長岡技術科学大学と小型風力発電機を研究、開発をしています。2022年には商品化できればと思っています。

社員と一緒に、未来をつくる企業、魅力のある企業を、そして、再生エネルギーの産業に参入することを目指します。

**(司会)**

最後に、株式会社新潟食品運輸です。代表取締役の井越鉄雄様、よろしくお願いいたします。

**(新潟食品運輸・井越)**

弊社は昭和56年の設立で、今年で38年になります。以来、日常生活に欠かすことのできない食品の物流を専門とし、仕分け、梱包、保管、輸送等の総合物流システムを構築してきました。

本社は新潟市にありますが、昭和63年に長岡新産センターに長岡営業所を開設し、平成7年には長

岡市中之島流通団地内に長岡支社を新設しました。また、平成25年度、長岡支社地内に第2センターを増設しました。現在は、新潟市、長岡市、上越市を含め、県内5カ所に物流センター、六つの営業所、県外は長野県松本市の物流センター、群馬県前橋市の営業所、車両数約300台で営業を行っています。

このたび新潟市中央卸売市場内に6,000パレット収納の冷凍冷蔵倉庫を建設し、本格稼働は来年2月からですが、すでに荷物が入り切らないという予測のもと、このたびの流通産業団地に同じような冷凍倉庫を建設するという事に決めました。

長岡地域では社員約200人、派遣会社からの社員約100人の計約300人が仕事をしていますが、新しいセンターができた際には40人から50人の新規雇用を計画しています。

私ども物流会社はドライバー不足で非常に悩んでいます。仕分けから保管など、さまざまな物流に携わっている中で、15年ほど前から新卒の採用を行っています。その中で、将来ある会社を目指そうと、新しい雇用を増やしていきたいと考えています。

食品を預かる業者として、しっかりした仕事をして、新潟県民、長岡市民に安全な食品を提供したいと思っています。

(司会)

進出企業7社より進出概要等についてご説明いただきました。

これより進出協定を締結いたします。事前に各社と本市、双方の署名はおおむね済ませていますので、最後の1部に磯田市長が署名を行います。

それでは、磯田市長、進出協定書に署名をお願いいたします。

(進出協定書へ署名)

(司会)

ここに進出企業と長岡市との進出協定が締結されました。

なお、本日欠席の1社とは別途進出協定を締結する予定です。

それでは、記念撮影を行いますので、皆さま協定書をお持ちになってご起立ください。

(写真撮影)

(司会)

これより進出協定に関する質疑応答に入ります。

(記者)

1期分譲、2期分譲合わせて780人の雇用ということですが、そのうち新規雇用は何人でしょうか。

(商工部長)

260人です。

(記者)

その260人が長岡市に与える影響は、どのようなものがあるのでしょうか。

**(長岡市長)**

さきほど、カンエツさんから外国人採用という話がありましたが、例えば長岡技術科学大学には常時ベトナムからの留学生が100人います。他の国の方も入れると、200人近い留学生、高度人材がいます。先般、ベトナム人材紹介企業の社長が、ぜひ長岡でも受け入れてもらいたいと来られましたが、市としては外国人人材もしっかりと受け入れたいと考えています。

今日おいでいただいた企業の皆さまからは、長岡市内の高校、4大学1高専の卒業生とともに、この外国人材の太いパイプもあることも意識していただけたら、260人の新規雇用も十分可能ですし、長岡市もダイバーシティを目指していきたいと思います。

**(記者)**

団地への進出形態について、各社お聞かせください。

**(大平興業・藤井)**

太平興業は、移転に拡張も含まれています。今回の移転により、敷地面積が現在の約2倍弱に拡張されますので、事業の拡張、雇用の促進という点で大変魅力のある場所だと思っています。

**(美松・松井)**

美松としては、県外、海外からお客さまが来るような新しい商品を発信する工場を新規で考えています。

**(日本陸送・黒岩)**

私たちは、国内自動車メーカー向けの機能を群馬から移転します。現在取引のあるメーカー以外の取引も増えていくと見込んでの今回の進出です。

**(カンエツ・関谷)**

私たちは、営業所の移転・拡張です。

**(大原運輸・布川)**

大原運輸は、本社移転です。

**(波多製作所・波多)**

波多製作所も本社移転です。

**(新潟運輸・井越)**

私どもは新規でセンターを作ります。昨今、冷食の需要が相当増えていまして、全国的に冷蔵庫が足りない状況です。今回の団地は、北海道や関西から来る荷物のハブ的な立地だと思っています。

弊社のセンターでも相当大きいセンターを建設したいと思います。

**(記者)**

それぞれ建設される建屋の延床面積をお聞かせください。

**(太平興業・藤井)**

延床面積は約1,100坪の予定です。

**(美松・松井)**

今の計画では、1,200坪ぐらいだと計画しております。

**(日本陸送・黒岩)**

600坪の倉庫に作業所が300坪ぐらいの規模に、付帯設備でスタートするだろうと思います。

**(カンエツ・関谷)**

建物で約300坪、あとは屋外に商品管理のラック等の建設を計画しています。

**(大原運輸・布川)**

まだ予定ですが、500から700坪で考えています。

**(波多製作所・波多)**

弊社は、現在より広く、500坪ぐらいで考えています。

**(新潟食品運輸・井越)**

おそらく1,000坪から1,200坪ぐらいの、ビル5階ぐらいの高さになると思います

**(司会)**

以上をもちまして、長岡北スマート流通産業団地第2期エリア進出協定合同締結式を終了します。  
ありがとうございました。